

草の根協力支援型

2016年度第2回 採択内定案件

| I. 提案事業の概要 | |
|--------------------|---|
| 1. 対象国名 | ブータン王国 |
| 2. 事業名 | ブータン王国シンカル村における所得向上と住民共助による生活基盤の継承・発展 |
| 3. 事業の背景と必要性 | <p>ブータン王国の国是である「国民総幸福（GNH）」の重点項目の1つが、村落における生活基盤の継承・発展である。しかし、その実現に向けては、村落住民が主体となった所得向上活動の推進が欠かせない。近年の貨幣経済の浸透で、村落部では現金収入の必要性がますます高まっているが、そこでは収入確保の機会が相対的に限られるため、離村を考える人が徐々に増えてきたからである。しかも、住民は出稼ぎや換金作物の栽培などに時間が取られ、収入確保が先んじられるようになった分、住民自身で整備した村内インフラの維持管理の共助活動が低調になった。中には村落経済にとって重要なインフラもあるため、共助活動の不活発化は所得向上の妨げにもなっている。村落の生活基盤の継承・発展を図る上では、住民自身が地元での所得向上の機会づくりに取り組み、また、そうして生活上の余裕を増やし、住民共助の活性化を進めることが望まれる。事業の対象となるシンカル村でも同様の課題が浮上している。第一に、村内での所得向上の機会づくりに向けて、これまで乳製品加工センター建設やソバの有機栽培の政府支援を受けてきたが、前者は主として施工上の不備のため、後者は主として水車（穀類の製粉用）が故障のため、双方ともに成果を収めるまでには至っていない。第二に、村内インフラの整備・維持の住民共助も以前に比べて活発ではなくなってきた。水車が故障したままであるのも、現金収入の確保に追われて生活上の余裕がなくなってきたからである。同様の理由より、水はけ改善のために住民が自分で自力で掘った水路も蛇行し始めているにもかかわらず、処置を施すことができていない。</p> <p>こうした事態の改善に向けては、住民主体で所得向上と住民共助を進めるためのきっかけづくりと意識向上、そして、作業場（乳製品加工センターや水車小屋）の修理が必要となっている。シンカル村はチベット仏教の高僧ゆかりの地や景勝地としても名高い。同村住民が「一つになった」所得向上活動は、同村での住民共助の再活性化の後押しになるとことが見込まれるとともに、村落振興のあり方に関する議論をブータン国内で深める一助にもなることが期待される。</p> |
| 4. プロジェクト目標 | シンカル村の住民の所得が向上くとともに、住民共助の活性化が進むことで、同村の生活基盤が経済面と社会面の双方で強化される |
| 5. 対象地域 | ブムタン県 ウラ地区 シンカル村 |
| 6. 受益者層 | ブムタン県ウラ地区シンカル村の全世帯（39世帯、108人） 同村生活基盤の継承・発展を担う20～30代の青年（19人） |
| 7. 生み出すべきアウトプット | <p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 村の青年が乳製品加工協同組合のリーダー・スタッフになる上で必要な技能を得る 2. 乳製品加工協同組合の組織が強化されるとともに、組合活動（乳製品加工と住民共助活動）についての合意形成がなされる 3. 乳製品加工協同組合の生産・販売活動が始まり、組合員の所得向上が進むための土台が構築される 4. 住民共助による生計向上活動の新たな計画が立てられ、実施される（予定活動：水路改修と水車修理） <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 乳製品加工協同組合のリーダーを任命（青年計3名）する 1-2. 選ばれたリーダーに対する研修（予定先：ブムタン県チョコル地区の乳製品加工協同組合）を実施する 1-3. 育成された乳製品加工協同組合のリーダーが、組合員の生活状況調査を行う 1-4. 育成された乳製品加工協同組合のリーダーが、日本人専門家の受入に係る調整業務を行う 1-5. 育成された乳製品加工協同組合のリーダーが、訪日研修の実施に係る調整業務を行う 2-1. 乳製品加工協同組合の定款と運営体制の検討する会議を開く 2-2. 協同組合の定款と運営体制について組合員の合意を得るために、創立総会を開催する 2-3. 組合運営の進捗・課題を検証するとともに、住民共助による生計向上（活動4-1,-2,-3）に取り組む体制を話し合うために、定例会を開催する 3-1. 乳製品加工センター（MPU）の建物を修繕（土台・内装修復、柵設営）する 3-2. 研修先（活動1-2）の組合関係者を招いて、乳製品加工協同組合の生産・販売活動を開始する 3-3. 研修先（活動1-2）の組合関係者を招いて、協同組合に対して加工・販売活動の実地研修を実施する 3-4. シンカル福祉協議会と実地研修指導者が協同組合の活動をモニタリングし、その結果をフィードバックする 3-5. 組合員の生活状況調査を再実施し、事業開始時の状況（活動1-3の結果）と比較対照する 4-1. 日本人専門家（福島県東和地区の営農家）が現地調査と住民指導を実施する 4-2. 住民共助による生計向上活動の先行事例を学ぶために、乳製品加工協同組合のリーダーに対する訪日研修を実施する 4-3. シンカル福祉協議会の協力のもと、協同組合が住民共助による生計向上のための新たな活動（予定活動：水路改修と水車修理）の計画を策定する 4-4. 住民共助による生計向上のための新たな活動が開始する 4-5. 協同組合が、持続的な計画実施のために組合員を指導する |
| 8. 実施期間 | 2018年4月1日～2020年9月30日（2年6か月） |
| 9. 事業費概算額 | 10,544千円 |
| 10. 事業の実施体制 | 日本側：甲南大学 ブータン側：シンカル福祉協議会 |
| II. 応募団体の概要 | |
| 1. 団体名 | 学校法人 甲南学園 甲南大学 |
| 2. 活動内容 | 高等教育（教育理念：「人物教育の率先」[人格養成、個性尊重の教育]） |